

滑川市議会

〈会派自民〉議会活動報告

会派自民

2025年8月発行

問い合わせ先

中川 勲 ☎477-1735

岩城晶巳 ☎477-1857

原 明 ☎475-1351

高川正樹 ☎475-9663

ご挨拶

皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

私ども、滑川市議会の会派自民は現在は中川勲、岩城晶巳、原明、高川正樹の4名のメンバーです。前身の一心クラブより20年間に及び、滑川市議会のリーダーとして活動してきております。

この任期の4年間は新型コロナウイルスの感染の拡大があり、それにより人々の生命のみならず、地域経済や社会生活に今まで経験したことのない大きな変化が生じてきておりました。このコロナ禍が沈静化した後は「トランプショック」です。これにより日本は世界の大きなうねりの中にいます。「緊張感高まる不安定な国際情勢」「日本の地域社会を変え続ける人口減少・少子高齢化」「生活を脅かす物価上昇、エネルギー高騰・伸びない実質賃金」「毎年続く異常気象による災害」と政治に課せられた仕事は山積しています。そのことから我々議員に課せられた使命は誠に大きいものと思っております。議員は皆様の要望を市政に反映すること、そして将来、滑川市がよりよい街になるにはどうすればよいのか方向を的確に判断することが責務と考えております。今まで市民の皆様より多くの貴重なご意見を賜り、それらの実現に向け当局と向かい合いながら活動を致し、何よりも初心を忘れることなく地域の代弁者として全力で走り続けております。

日々の議員活動を理解していただくためには、市民の皆様と議会との関係を深める努力がますます求められており、今回は議員個人ではなく会派として第3号を発行することで、この広報が少しでも議会を身近に感じていただく一環であることをご理解いただければ幸いに存じます。紙面の制約もあり4名の会派代表質問・一般質問が中心の構成になっておりますが、ご一読くださいますようお願い致します。

結びに皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

令和7年8月吉日 会派自民



中川 勲 議員
北野 (浜加積地区)
“公平無私”



岩城晶巳 議員
追分 (早月加積地区)
“泰然自若”



原 明 議員
宮窪 (北加積地区)
“不言実行”

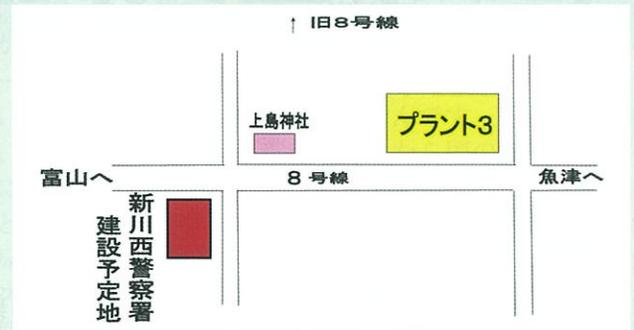


高川正樹 議員
下梅沢新町 (西地区)
“一期一会”

富山県警察署再編問題滑川市に建設決定!!

富山県警察署の再編目的は、人口減少や少子高齢化、サイバー犯罪などの課題に中長期的に対応し、総合的な治安機能を高めることである。高木県警本部長は「施設規模と機能を有する新しい警察署を建設して、将来にわたり県内の高い治安水準を保持していくことが目的」と述べている。併せて各地の警察署が古くなってきていることも要因として考えられ、県全体で8署に整備される。県東部は魚津・黒部・入善の各署は「新川東警察署(仮称)」として黒部市コラーレ付近に建設し、滑川・上市署は「新川西警察署(仮称)」として滑川市の新8号線の上島神社交差点付近(プラント3付近)で整備されることが決定されました。この滑川市への誘致は上市署は立山町も範囲に入っており、また、上市署には山岳警備隊もあることから滑川市は不利ではないかと言われていました。これを大逆転したのは水野滑川市長をはじめとする関係各位の努力のたまものと敬意を表します。「首長で一番熱心に数多く陳情に来られた。」と関係者から聞いております。

新署は100人~120人規模で、廃止される警察署は分庁舎として10人~15人程度で行政機能を残すとのことです。建設は呉西の2署から建設され呉東は2030年度以降になります。これで20年以上の再編整備の議論が決着することになりました。



定例議会における会派自民の質問より



中川 勲 議員

- 元議長
- 監査委員
- 産業厚生建設委員

~令和7年6月議会質問より~

防災対策について

Q能登半島地震から1年5か月経過したが、滑川市として課題はあるか。

A水野市長 大きな課題として、1つ目が防災知識の普及、防災意識の向上、2つ目が市民への情報提供、3つ目が避難所の開設・運営、4つ目が沿岸部における避難行動支援で、これらの課題に対していろんな政策を打っている。

SDGs未来都市について

QSDGs未来都市に県内で5番目に選定されたが、市民にどのようにPRし、何を重点的に取り組むのか。

A水野市長 昨年5月、2024年度SDGs未来都市に全国24都市の1つとして選ばれた。市広報誌やホームページへの掲載、市庁舎の看板や封筒のリニューアル等で市民に周知を図ってきた。滑川市いきいき市政講座にも講座のメニューとして新たに追加した。そのほか、次世代を担う子どもたちに向けた学校での普及啓発講座なども行っていく予定である。

富山地方鉄道の運営について

Q富山地方鉄道は滑川市民にとっては大切な公共交通と想っているが、経営状況と滑川市として、どのような支

援を考えているのか。

A水野市長 鉄道事業については令和2年度以降営業赤字が拡大している。令和7年3月期決算によると補助金を加えて約6億6千万円の営業赤字となっており、事業者のみで維持していくことは厳しいと認識している。市の支援として、令和7年度は、国、県、沿線市町村で約5億7千万円補助する。本市においても、列車の走行距離に応じた応分の支援を行う。

市管理施設について

Qアメリカの安全対策を建設が完成してから度々行われているが、設計時点で考えられなかったのか。

A長崎産業民生部長 利用者からの意見が多数寄せられたものや指定管理者の要望を基に必要性を判断して実施した。特に利用者の安全や利便性に関するものは、速やかに改善を図った。

除雪対策について

QGPS端末を利用した除雪管理システム導入の考えはないか。

A北島建設部長 除雪管理システムは、除雪の進行状況をリアルタイムで把握できるものであり、除雪業者への指示のほか、市民の問い合わせにも迅速に対応が期待でき、導入にあたっては、費用対効果を考え検討する。



岩城晶巳 議員

- 元議長
- 広報広聴委員長
- 総務文教消防委員
- 滑川中新川地区広域情報事務組合 議会議員

~令和7年3月議会などの質問より~

能登半島地震により判明した本市の課題、復旧状況について

Q滑川市として一番不安なのは、菟輪から魚津・黒部のほうへ続く断層であり、滑川にとって一番恐ろしい断層だと思いが、見解を伺う。

A水野市長 本市を横断している魚津断層帯は長期評価によると、マグニチュード7.3程度が予想されている。本市の直下を震源とする地震があると大きな影響があると考えられるが、内陸の断層帯が揺れるので大きな津波は来ないと思っている。いろんな想定をしながら恐れることは必要である。

Q防災士を何年まで何名と、養成目標をもっているのか。

A水野市長 防災士の数値目標は設けていない。今年度新たに、防災士の資格取得後に滑川市防災士連絡協議会に加入した場合、受講料、認定登録料を全額補助をする防災士資格取得補助金を創設した。まずは各地区に一定数を確保することが目標である。

Q災害支援物資の備蓄倉庫は市の西部に固まりすぎているのではないかと。東部にも必要では。

A水野市長 決して西高東低というつもりはない。いろんな形で課題等も整理しながら、備蓄倉庫について判断

していきたい。

東福寺野自然公園について

Q青雲閣はいつ頃から解体を始めるのか。

A上田教育委員会事務局長 事務室などの建物外への移転が完了した後に進めることにしている。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

Qワクチン接種の後遺症について、予防接種法上、健康被害救済に関する申請期限は設けられておらず、ワクチン接種後6、7年目になっても申請できる。自治体の書類は原則5年で廃棄と聞かすが、5年以降に後遺症が出て申請する場合はどうするのか。

A石川健康福祉部長 予防接種に関する情報については、保存期間を超えて保存すべき情報であり、データ化した上で、保存期間を設けることなく保存していきたい。

学校教育について

Q市内の学校に設置されている太陽光発電について、稼働していないものはどうするのか。災害対応や、電気が来なくなった際に大事ではないかと思うがどうか。

A上田教育長 費用等を考慮した上で必要な修繕の実施を検討する。装置全体の老朽化が進んでいるため、修繕では対応不可能のものについては、費用対効果を含め再設置をするか検討したい。



原 明 議員

- ・元議長
- ・議会運営委員長
- ・産業厚生建設委員
- ・富山地区広域圏事務組合議員

～令和7年6月議会質問より～

行田公園の管理、整備について

Q行田公園の旧児童館跡地、遊具広場、SLや格納庫の整備、園路補修工事の計画を問う。

A北島建設部長 遊具や境界柵の更新工事など計画的に行っており、今年度は、社会福祉センター側の階段改修工事と遊具の更新を予定している。今年度中に第3次滑川市都市公園長寿命化計画を策定の上、国の交付金を活用し、計画的な更新を実施する予定である。

Qハナショウブの生育が悪いため欠株の補充、施肥、防虫対策としての殺菌、土壌改良など、生育環境改善が行われたが、生育状況を問う。

A北島建設部長 開花時期は昨年より10日前後遅れているが、昨年以上に咲くのではないかと考えている。生育状況は、気候条件など様々な要因に左右されるので、今後も観察を続け、必要な対策を実施し管理に努めていく。

駅前団地の跡地活用について

Q駅前団地の解体から9年が経過したが、今後の整備、活用の予定を問う。

A北島建設部長 跡地周辺は、第2種中高層住居専用地域に指定されており、現在当該跡地活用に係る個別具体

の整備、活用計画はないが、跡地活用が既存の住環境を生かした有効な公共空間の利活用となり、持続可能なまちづくりへとつながるよう検討して行く。

農業の振興について

Q地域農業の未来設計図である地域計画のアンケート結果と今後の取組を問う。

A長崎産業民生部長 市内の農業者の農地の利用意向を把握するアンケート調査の結果を基に、本年3月に地域計画を策定し、ホームページで公表している。地域の皆様が守り続けてきた農地が引き続き利用され次世代に引き継いでいくため、地域計画を毎年ブラッシュアップしながら農業の振興に取り組んでいく。

学校教育について

Q日本語の指導を必要とする、話せない10人の外国人児童、生徒への生活・会話指導の実施を問う。

A上田教育長 就学までの生活状況が一人一人異なるため、編入学時の面談や学校生活を送る中で、児童、生徒の話す・聞く・読む・書くなどの日本語の能力の実態把握を行い、個別の指導計画を作成して指導に当たっている。



高川正樹 議員

- ・議会報編集委員長
- ・総務文教消防委員

～令和7年6月議会質問より～

職員の働き方や職場環境について

Q職員の働き方改革として、どのようなことが行われているか。

A石川総務部長 職員のワーク・ライフ・バランスの実現を目的とした柔軟な働き方の整備が求められている。多様な勤務制度の導入や、妊娠、出産、育児、介護等のライフイベントと仕事の両立支援として、各種休業、休暇の取得促進に取り組んでいる。多様な勤務制度としては、時差出勤勤務制度や、育児または介護のための早出遅出勤勤務制度、テレワークによる在宅勤務を実施しており、一日の勤務時間を変えずに、個々の職員の事情を尊重した柔軟な働き方を可能とする制度を整備している。

交通安全について

Q令和8年4月より予定されている自転車の交通違反の交通反則通告制度（青切符）に対する市民への周知はどのように行っているのか。

A長崎産業民生部長 滑川警察署や滑川市交通安全協会など、関係機関と連携を図りながら、制度施行までの間、各種行事で、自転車も車両の一種であり、基本的な交通ルールを遵守する必要があることや、警察の警告に従わないなど、悪質、危険な違反行為については取り締

まりの対象となり、反則金が課されることになることなどについて丁寧に周知を行う。

スポーツ振興について

Q過去に小中高生たちがスケートボードをする場所の整備について質問した際、まずは市民ニーズを把握したいとのことであったが、その後どのように進めてきたのか。

A高倉教育委員会事務局長 市内でスケートボードを行う場所がない、自転車で行ける範囲にスケートボードができる場所が欲しいといった声があることは承知している。今年度、市生涯スポーツプランの見直しに際して、市民のスポーツに関する意識調査を行うこととしており、これも活用して市民のニーズの把握に努めたい。

個別避難計画の作成について

Q個別避難計画は、令和8年度までに作成することが努力義務化されているが、順調に進んでいるか。

A石川健康福祉部長 令和7年度は、ハザードマップで被災が想定されていない区域に居住している方やこれまでのひとり暮らし高齢者登録名簿や避難行動要支援者見守り台帳の登録者に、作成希望の有無をお伺いする案内を送付する。



滑川市議会議員と厚生連役職員との懇談会

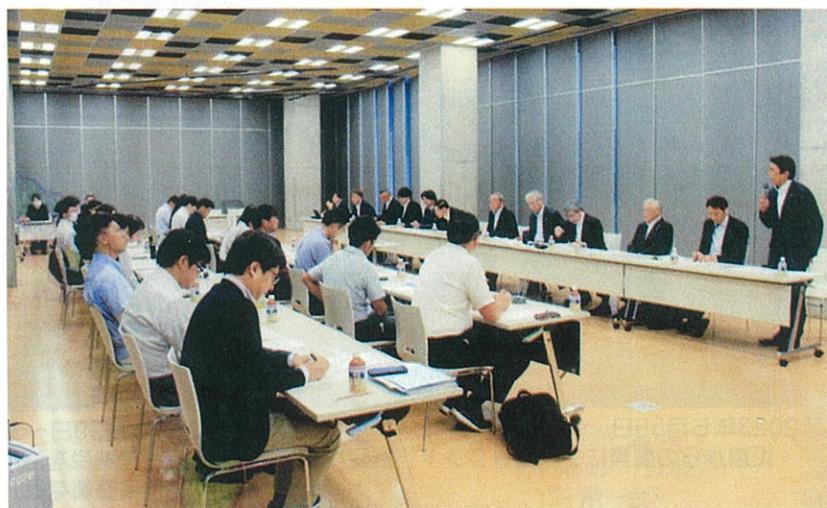
厚生連滑川病院の現況と全国的なこれからの病院経営実状について説明を受け議論いたしました。

日時 令和7年6月25日（水）
午前10時～
場所 滑川市役所 3階大会議室

市小中学校PTA連合会と市議会議員との意見交換会

令和7年7月3日（木）午後7時より開催されました。

議員は13名の出席、PTA側は23名もの方に出席していただきました。児童生徒の安心・安全について、各学校の設備についてのテーマで、意見交換が行われ有意義な2時間となりました。たくさんの要望・提案をいただき当局にしっかりと伝え一つでも多く実現できるよう努力いたします。



住基ネットワークシステム導入について

○令和4年度6月議会より

住基ネットワークシステム管理費予算は、まだ実態が理解されておらず時期尚早と反対する議員と国の補助があるうちに推進すべきとの賛成議員とで議会で大きく議論されました。その中で会派自民は管理費予算賛成の立場で可決に大きく貢献しました。

そのときの議論より

【住基ネットワークシステムを簡単に言えば、コンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書を受け取るシステムです。これは究極な住民サービスです。近所の方ですが、富山市の会社に勤めているのですが平日の朝に見かけたので「今日仕事はどうされたか」と尋ねたら、「印鑑登録証明書が必要なもので、職場に遅刻届けを出しているのゆっくりしています。富山市のように、勤め先の近所のコンビニで印鑑証明書を受け取れるなら、昼の休憩時間、仕事の前、終わった時間に寄れるんだけど滑川市はそんながになってないし。」と訴えておられたことを思い出しました。

県内10市町村で整備運用されており、砺波市、小矢部市の2市が整備中であり、あとは3市町だけです。その一つが滑川市です。(令和4年6月現在)

滑川市は、市外へ勤務、通学する市民の割合は50%以上です。市

町村の窓口へ来なくても、勤め先近くのコンビニで住民票などが受け取れる、こんな便利な話はない。そのほか、勤めて県外出張しているときや、子どもが都会の大学に進学しているとき、これらの書類が必要となるのであれば、出張先や進学先の近くのコンビニで受け取れるのです。このシステムを整備すれば、全国のコンビニで自分の印鑑証明や証明書を受け取れます。それにより、市民課の窓口の混雑が緩和され住民サービスの向上につながっていきます。いずれは導入しなければならないシステムであり、時代の要求なんです。そこに国の施策があります。いずれ整備するならば、今だったら国の交付措置が受けられるときに整備するのが地方自治体の賢明な生き方です。準備期間を逆算すると、この6月議会に議決しなければ交付措置が受けられないという当局の立場も考慮すべきではないのか。整備したならば、ランニングコストがかかると言いますが、自治体として住民の皆さんに快適で利便性のある暮らしを提供することは、スポーツ設備の建設や保育料の無償化などと一緒で、採算が合わなくても市民に提供しなければならない事業の一つです。滑川市は財政力が安定しており、こちらあたりまでの住民サービスを実施してもよいのではないかと。議員諸氏の賢明なる判断をお願いしたい。】

滑川市と魚津市の生徒児童数が逆転しています!!

滑川市と魚津市の中学生・小学生の人数が逆転しています。細かく見みると今年度の小学校の新入生、中学校の新入生が滑川市の方が多くなっています。20年前の滑川市の人口は34,281人、魚津市の人口は46,517人でしたが、今年6月1日現在を比較すると滑川市は31,510人魚津市は37,552人と、20年前12,000人余の差が今年度は6,000人余の差に縮んでいます。2050年には滑川市、魚津市、黒部市の三市は肩を並べるだろうと推測されています。(人口推計より)

滑川市・魚津市の20年間の人口推移

2005年滑川市	34,281人	⇒	2025年滑川市	31,510人
2005年魚津市	46,517人		2025年魚津市	37,552人

滑川市・魚津市の小学生児童数比較

学年	滑川市	魚津市
小学校1年生	252人	235人
2年生	263人	229人
3年生	266人	246人
4年生	280人	248人
5年生	286人	263人
6年生	249人	281人
合計	1,596人	1,502人

滑川市・魚津市の中学生生徒数比較

学年	滑川市	魚津市
中学校1年生	281人	255人
2年生	232人	285人
3年生	280人	276人
合計	793人	816人

2025年5月1日現在

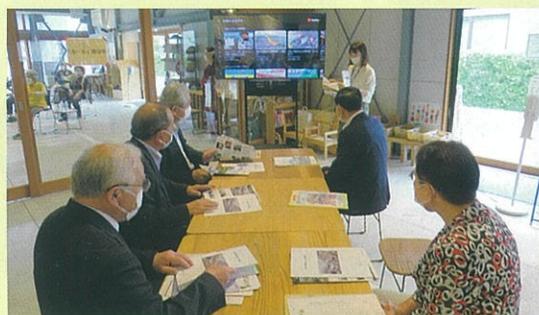
(視察は会派以外の議員の方々にも参加していただいています)



2023年5月29日 朝日町(笹原町長と)
・中学校の部活動の民間指導について
・デマンド交通について



2023年10月24日 総務省
・永代地上権についての研修
その後上田衆議院議員・野上参議院議員・小善国土交通省政策統括官(撮影時)〈大掛町内出身〉と懇談会を開いていただき、滑川市の現況を報告させていただきました



2023年5月30日 糸魚川市
・災害からの復興についてレクチャーを受ける



2024年5月29日~30日 茨城県境町
・ふるさと納税を活用して「自動運転バス・子育て・住宅整備など」様々な施策を行っている



茨城県下妻市
・鳥獣被害防止計画について